

財政健全化戦略プラン

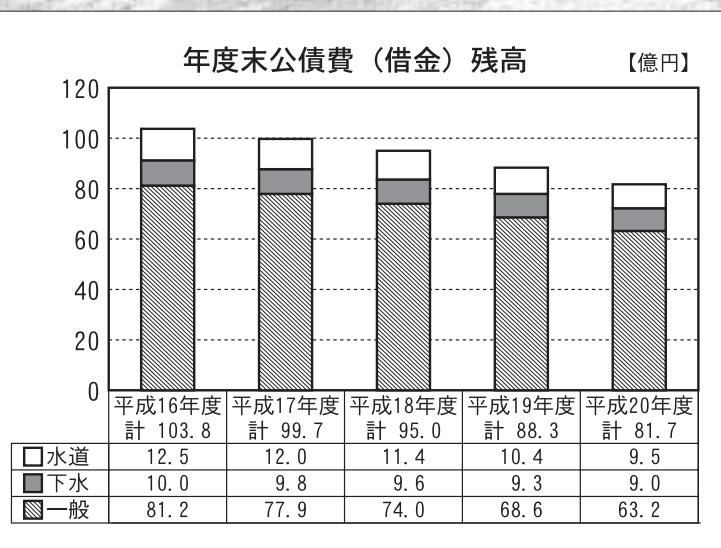
22年度は1億7,800万円の財政効果が目標

まちづくりには、財政健全化が不可欠です。そのためには、町民の皆さんのご理解とご協力をいただきながら、このプランを着実に実践していくことが大切です。

皆さんのご理解とご協力を

このプランと従来から継続している行政改革により、年度末公債費（借金）残高が、下のグラフのように減少傾向にあるほか、町の貯金である財政調整基金が少しずつ増えています。町の財政状況が若干ではありますが、好転しつつあります。

この財政調整基金は、財源不足が生じたときに穴埋めするために備え、積み立てており、増えてきているとはいえ、行政改革は今後も継続し、これからまちづくりに向けて蓄えを維持していくかなければなりません。



財政調整基金

年度末残高

（単位：億円）

年度	残高（億円）
16年度	9.7
17年度	9.8
18年度	10.1
19年度	10.5
20年度	10.9

財政状況がわずかながら好転

順調に進む

町は、財政健全化をめざし、平成20年度に「財政健全化戦略プラン」を策定し、実践しています。20年度の実績と21年度の見込みいずれも当初の財政効果目標を上回り、財政健全化が進んでいます。

平成22年度は、1億7,800万円の削減効果を目標としています。

21年度は、投資的事業など町単独事業の財源を確保するこにより町の持出額を抑え、さらに上下水道料金の改定で、増収対策にも力を入れています。22年度は、プラン実践3年目を迎えます。主な取り組みとしては、あさひ保育園のくんねつぶ保育園との統合や町税などの収納率改善に取り組むなど収支改善をめざします。

このプランと従来から継続している行政改革により、年度末公債費（借金）残高が、下のグラフのように減少傾向にあるほか、町の貯金である財政調整基金が少しずつ増えています。町の財政状況が若干ではありますが、好転しつつあります。

この財政調整基金は、財源不足が生じたときに穴埋めするために備え、積み立てており、増えてきているとはいえ、行政改革は今後も継続し、これからまちづくりに向けて蓄えを維持していくかなければなりません。

支出を抑制し、增收策も実施

財政健全化戦略プラン

	20年度の主な取り組み	21年度の主な取り組み	22年度の主な取り組み
1 効率的な行政運営の確保と経費の圧縮	<ul style="list-style-type: none"> 職員数の減員 議員報酬等の独自削減 教育長・職員給与等の独自削減など 	<ul style="list-style-type: none"> 議員および各種委員等の旅費等削減 職員旅費の削減 行政事務経費節減など 	<ul style="list-style-type: none"> 職員数の抑制
2 町単独事業などの見直しと経費の圧縮	<ul style="list-style-type: none"> 上下水道事業経営健全化（借金の繰上償還、低利資金への借り換えなど） 	<ul style="list-style-type: none"> ひので保育園の統合 補助奨励事業の見直し 投資的事業にかかる町費負担の軽減など 	<ul style="list-style-type: none"> 保育内容の充実 ～くんねつぶ保育園とあさひ保育園の統合
3 施設利用サービスの見直しと経費の圧縮	<ul style="list-style-type: none"> 葬斎場維持管理委託内容見直しなど 	<ul style="list-style-type: none"> 公園維持管理経費縮減 図書館日常清掃の直営化 社会体育施設維持管理経費の縮減 	<ul style="list-style-type: none"> 町税等収納率の改善
4 自主・自律性の高い財政運営の確立	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと思いやり寄付金制度創設 牧場サイロ・鉄道ケーブル売り払い処分など 	<ul style="list-style-type: none"> 窓口料金の改定 町有林の一部売却処分 低利資金借り換えによる地方債の一部繰上償還 	<ul style="list-style-type: none"> 複数年に及ぶ債務負担事業の抑制 低利資金借り換えによる地方債の一部繰上償還
5 その他の戦略		<ul style="list-style-type: none"> 河川維持報償金の見直し 	
財政効果および見込み（当初の財政効果目標）	1億4,600万円 (5,300万円)	1億6,700万円 (1億3,400万円)	(1億7,800万円)